

事後評価書（完了後の評価）

都道府県名	秋田県	関係市町村	男鹿市
事業名	水産資源環境整備事業（水産生産基盤整備事業）		
地区名	ハタケ 畠	事業主体	秋田県

I 基本事項

1. 地区概要			
漁港名（種別）	畠漁港（第2種）	漁場名	—
陸揚金額	174 百万円	陸揚量	316 トン
登録漁船隻数	66 隻	利用漁船隻数	66 隻
主な漁業種類	刺し網、さけ定置、小型定置	主な魚種	さけ・ます類、ひらめ・かれい類、さざえ
漁業経営体数	44 経営体	組合員数	53 人
地区の特徴	畠漁港は、秋田県臨海部のほぼ中央部にある男鹿半島の北西端に位置し、その近海一帯はさけやひらめ類等の好漁場を形成している。 主な漁業形態は、大型定置網や小型定置網、刺し網となっているが、大規模な定置網漁業は県内でも有数の漁獲実績をあげており、水産業は本地区の主要な産業を担っている。		
2. 事業概要			
事業目的	本地区は、荒天時における防波堤からの越波により、航路・泊地の静穏度が確保されておらず、漁船の入出港や係留に支障を来している。また、護岸からの越波による漁業資材の散乱や損傷が発生しており、安全な漁業活動に支障を来している。 このため、防波堤の改良や沖防波堤の延伸により、港内静穏度の向上を図るとともに、護岸の改良整備により、越波による漁業資材の散乱・損傷といった被害を防止する。		
主要工事計画	東防波堤（改良）121m、東護岸（改良）110m、沖防波堤（新設）30m、護岸（改良）49m、-2.0m物揚場（新設）20m、旧施設撤去1式		
事業費	1,197百万円	事業期間	平成14年度～平成29年度

II 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	
	本事業では、平成28年に期中の評価を実施し、経済効果の妥当性について評価を行った。その際の分析の算定基礎となった受益戸数については、高齢化や人口減少に伴う漁船数の減少などの要因により減少しており、費用便益比率も平成28年の1.24から令和6年の1.02へと減少している。
2. 事業効果の発現状況	
	事業実施以前は、航路・泊地の静穏度が確保されておらず、漁船の入出港や係留に支障を来していたり、護岸からの越波により、背後用地に保管している漁業資材が散乱・損傷するといった問題があった。しかし、本事業による外郭施設等の整備により、上記の問題の改善が図られた。 また、現時点での費用対効果分析の結果は1.0を上回っており、一定の効果発現が見られる。

3. 事業により整備された施設の管理状況				
本事業により整備された施設は、漁港管理者である秋田県が漁港漁場整備法第26条の規定に基づき漁港管理規定を定め、これに従い、適正に漁港の維持、保全及び運営その他漁港の維持管理を行っている。				
4. 事業実施による環境の変化				
騒音、振動、水質汚濁といった環境への影響を配慮した施工を行っており、事業実施による環境の変化は確認されていない。				
5. 社会経済情勢の変化				
当該漁港における平成14年計画時点の登録漁船隻数は133隻であったが、高齢化や人口減少といった問題等があり、令和4年には66隻に減少しているものの、新規就業希望者も今年度から新たに増えている状況であり、当該地域において水産業は引き続き基幹産業としての重要性は高い。				
6. 今後の課題				
本事業により、港内静穏度の向上や漁具資材の飛散防止等、安全で効率的な漁業活動のための環境の確保が図られており、また、機能保全事業を活用した施設の長寿命化対策も進められてきている。 一方で漁業者の高齢化や減少が著しいため、新規就業者の確保をこれからも継続して実施していく必要がある。				
7. 事業の投資効果が十分見込まれたか				
平成28年評価時の 費用便益比B／C	1.24	現時点の B／C	1.02	※別紙「費用対効果分析集計表」のとおり

Ⅲ 総合評価

本事業では、県中央部圏域での生産拠点として重要な役割を担っている当該地区において、港内の静穏度を確保するための外郭施設や安全で効率的な漁業就業環境の確保を図るための係留施設等の整備を行った。

また、貨幣化が可能な効果について、費用対効果分析を行ったところ、1.0を超えており、経済効果についても確認されている。

以上の結果から、本事業は当該地区において漁業経営の安定及び地域経済の振興へ寄与したものとされており、想定した事業効果の発現が認められる。

費用対効果分析集計表

1 基本情報

都道府県名	秋田県	地区名	畠
事業名	水産生産基盤整備事業	施設の耐用年数	漁港50年

2 評価項目

便益の 評価項目 及び 便益額	評価項目		便益額（現在価値化）	
	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	2,570,433	千円
		②漁獲機会の増大効果	414,612	千円
		③漁獲可能資源の維持・培養効果		千円
		④漁獲物付加価値化の効果		千円
	漁業就業環境の向上	⑤漁業就業者の労働環境改善効果	288,397	千円
	生活環境の向上	⑥生活環境の改善効果		千円
	地域産業の活性化	⑦漁業外産業への効果		千円
	非常時・緊急時の対処	⑧生命・財産保全・防御効果		千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
	自然保全・文化の継承	⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
	その他	⑬施設利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
	計（総便益額） B		3,273,442	千円
	総費用額（現在価値化） C		3,211,413	千円
	費用便益比 B / C		1.02	

3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

○外郭施設の整備により港内静穏度が向上し、荒天時における漁船係留の安心感が得られる。

水産生産基盤整備事業 畠地区 事業概要図 【整理番号12】



畠地区 水産生産基盤整備事業の効用に関する説明資料

1. 事業概要

- (1) 事業目的：本地区は、荒天時における防波堤からの越波により、航路・泊地の静穏度が確保されておらず、漁船の入出港や係留に支障を来している。また、護岸からの越波による漁業資材の散乱や損傷が発生しており、安全な漁業活動に支障を来している。
このため、防波堤の改良や沖防波堤の延伸により、港内静穏度の向上を図るとともに、護岸の改良整備により、越波による漁業資材の散乱・損傷といった被害を防止する。
- (2) 主要工事計画：東防波堤（改良）121m、東護岸（改良）110m、沖防波堤（新設）30m、護岸（改良）49m、-2.0m物揚場（新設）20m、旧施設撤去1式
- (3) 事業費：1,197百万円
- (4) 工期：平成14年度～平成29年度

2. 総費用便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」（令和6年6月改定 水産庁）及び同「参考資料」（令和6年6月 水産庁）等に基づき算定

区分	算定式	数値
総費用（現在価値化）	①	3,211,413（千円）
総便益額（現在価値化）	②	3,273,442（千円）
総費用総便益比	②÷①	1.02

(2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費（千円）
東防波堤（改良）	L= 121m	613,600
東護岸（改良）	L= 110m	286,700
沖防波堤（新設）	L= 30m	251,700
護岸（改良）	L= 49m	12,000
-2.0m物揚場	L= 20m	26,000
旧施設撤去	N= 1式	7,000
計		1,197,000
維持管理費等		52,000
総費用（消費税込）		1,249,000
内、消費税額		73,247
総費用（消費税抜）		1,175,753
現在価値化後の総費用		3,211,413

(3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準便益額（千円）	効果の要因
水産物生産コストの削減効果		66,049	・港内静穏度向上に伴う漁船耐用年数の延長 ・港内静穏度向上に伴う荒天時の係留作業時間の軽減 ・港内静穏度向上に伴う荒天時の見回り時間の軽減 ・港内静穏度向上に伴う荒天時の船揚場利用漁船の避難時間の削減 ・護岸整備に伴う漁業資材の避難時間の削減 ・荒天時のゴミ片付け経費の削減 ・物揚場整備に伴う作業時間の軽減 ・排水路改良に伴う土砂上げ回数の削減
漁獲機会の増大効果		11,741	・港内静穏度向上に伴う操業時間の増大 ・港内静穏度向上に伴う出漁可能日数の増加
漁業就業者の労働環境改善効果		8,373	・安全性・快適性の向上に伴う労働環境の改善効果
計		86,163	

(4) 費用及び便益の現在価値算定表

評価 期間	年 度	割引率	デフ レート	費用 (千円)			便益 (千円)				
				事業費 (維持管理 費含む)	事業費 (税抜)	現在価値 (維持管理 費含む)	水産物 生産コスト 削減効果	漁業機会の 増大	漁業就業者 の労働環境 改善効果	計	現在価値 (千円)
				①	②	①×②×③				④	①×④
-22	14	2.370	1.598	40,000	38,095	144,275	0	0	0	0	0
-21	15	2.279	1.631	150,000	142,857	531,006	0	0	0	0	0
-20	16	2.191	1.633	230,000	219,048	783,732	0	0	0	0	0
-19	17	2.107	1.631	50,000	47,619	163,643	0	0	0	0	0
-18	18	2.026	1.600	50,000	47,619	154,361	27,010	0	0	27,010	54,722
-17	19	1.948	1.614	130,000	123,810	389,267	27,010	0	0	27,010	52,615
-16	20	1.873	1.611	50,000	47,619	143,685	27,010	0	0	27,010	50,589
-15	21	1.801	1.511	12,000	11,429	31,101	38,220	6,909	4,319	49,448	89,055
-14	22	1.732	1.453	10,000	9,524	23,968	48,444	6,909	4,319	59,672	103,351
-13	23	1.665	1.507	16,000	15,238	38,234	48,444	6,909	4,319	59,672	99,353
-12	24	1.601	1.455	7,000	6,667	15,530	48,529	6,909	4,319	59,757	95,670
-11	25	1.539	1.460	1,000	952	2,139	48,998	6,909	4,319	60,226	92,687
-10	26	1.480	1.397	1,000	926	1,914	48,998	6,909	4,319	60,226	89,134
-9	27	1.423	1.373	20,000	18,519	36,182	48,998	6,909	4,319	60,226	85,701
-8	28	1.369	1.373	195,000	180,556	339,379	48,998	6,909	4,319	60,226	82,449
-7	29	1.316	1.337	237,000	219,444	386,109	48,998	6,909	4,319	60,226	79,257
-6	30	1.265	1.295	1,000	926	1,516	66,049	11,741	8,373	86,163	108,996
-5	1	1.217	1.260	1,000	909	1,393	66,049	11,741	8,373	86,163	104,860
-4	2	1.170	1.241	1,000	909	1,319	66,049	11,741	8,373	86,163	100,810
-3	3	1.125	1.197	1,000	909	1,224	66,049	11,741	8,373	86,163	96,933
-2	4	1.082	1.101	1,000	909	1,082	66,049	11,741	8,373	86,163	93,228
-1	5	1.040	1.000	1,000	909	945	66,049	11,741	8,373	86,163	89,609
0	6	1.000	1.000	1,000	909	909	66,049	11,741	8,373	86,163	86,163
1	7	0.962	1.000	1,000	909	874	66,049	11,741	8,373	86,163	82,888
2	8	0.925	1.000	1,000	909	840	66,049	11,741	8,373	86,163	79,700
3	9	0.889	1.000	1,000	909	808	66,049	11,741	8,373	86,163	76,598
4	10	0.855	1.000	1,000	909	777	66,049	11,741	8,373	86,163	73,669
5	11	0.822	1.000	1,000	909	747	66,049	11,741	8,373	86,163	70,825
6	12	0.790	1.000	1,000	909	718	66,049	11,741	8,373	86,163	68,068
7	13	0.760	1.000	1,000	909	690	66,049	11,741	8,373	86,163	65,483
8	14	0.731	1.000	1,000	909	664	66,049	11,741	8,373	86,163	62,985
9	15	0.703	1.000	1,000	909	639	66,049	11,741	8,373	86,163	60,572
10	16	0.676	1.000	1,000	909	614	66,049	11,741	8,373	86,163	58,246
11	17	0.650	1.000	1,000	909	590	66,049	11,741	8,373	86,163	56,005
12	18	0.625	1.000	1,000	909	568	66,049	11,741	8,373	86,163	53,851
13	19	0.601	1.000	1,000	909	546	66,049	11,741	8,373	86,163	51,783
14	20	0.577	1.000	1,000	909	524	66,049	11,741	8,373	86,163	49,716
15	21	0.555	1.000	1,000	909	504	66,049	11,741	8,373	86,163	47,820
16	22	0.534	1.000	1,000	909	485	66,049	11,741	8,373	86,163	46,011
17	23	0.513	1.000	1,000	909	466	66,049	11,741	8,373	86,163	44,201
18	24	0.494	1.000	1,000	909	449	66,049	11,741	8,373	86,163	42,564
19	25	0.475	1.000	1,000	909	431	66,049	11,741	8,373	86,163	40,927
20	26	0.456	1.000	1,000	909	414	66,049	11,741	8,373	86,163	39,290
21	27	0.439	1.000	1,000	909	399	66,049	11,741	8,373	86,163	37,825
22	28	0.422	1.000	1,000	909	383	66,049	11,741	8,373	86,163	36,360
23	29	0.406	1.000	1,000	909	369	66,049	11,741	8,373	86,163	34,982
24	30	0.390	1.000	1,000	909	354	66,049	11,741	8,373	86,163	33,603
25	31	0.375	1.000	1,000	909	340	66,049	11,741	8,373	86,163	32,311
26	32	0.361	1.000	1,000	909	328	66,049	11,741	8,373	86,163	31,104
27	33	0.347	1.000	1,000	909	315	66,049	11,741	8,373	86,163	29,898
28	34	0.333	1.000	1,000	909	302	66,049	11,741	8,373	86,163	28,692
29	35	0.321	1.000	1,000	909	291	66,049	11,741	8,373	86,163	27,658

30	36	0.308	1.000	1,000	909	279	66,049	11,741	8,373	86,163	26,538
31	37	0.296	1.000	1,000	909	269	66,049	11,741	8,373	86,163	25,504
32	38	0.285	1.000	1,000	909	259	39,039	11,741	8,373	59,153	16,858
33	39	0.274	1.000	1,000	909	249	39,039	11,741	8,373	59,153	16,207
34	40	0.264	1.000	1,000	909	239	39,039	11,741	8,373	59,153	15,616
35	41	0.253	1.000	1,000	909	229	27,829	4,832	4,054	36,715	9,288
36	42	0.244	1.000	1,000	909	221	17,605	4,832	4,054	26,491	6,463
37	43	0.234	1.000	1,000	909	212	17,605	4,832	4,054	26,491	6,198
38	44	0.225	1.000	1,000	909	204	17,520	4,832	4,054	26,406	5,941
39	45	0.217	1.000	1,000	909	197	17,051	4,832	4,054	25,937	5,628
40	46	0.208	1.000	1,000	909	189	17,051	4,832	4,054	25,937	5,394
41	47	0.200	1.000	1,000	909	181	17,051	4,832	4,054	25,937	5,187
42	48	0.193	1.000	1,000	909	175	17,051	4,832	4,054	25,937	5,005
43	49	0.185	1.000	1,000	909	168	17,051	4,832	4,054	25,937	4,798
計				1,249,000	1,175,389	3,211,413	計				3,273,442

※評価期間は、便益対象施設が複数ある場合、各施設の整備毎に効果が発生するものとして算定

※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。

3. 効果額の算定方法

(1) 水産物生産コストの削減効果

1) 港内静穏度向上による漁船耐用年数の延長 (本港)

防波堤の改良整備前は、港内の静穏度が確保されていなかったことから漁船の接触等による損傷が生じていた。防波堤の改良整備により漁船の耐用年数が延長する。

$$26,567 \text{ 千円} \times 0.27 = 7,173 \text{ 千円}$$

按分係数0.27 (9次計画の事業費を含めたものと本計画の事業費を考慮して按分)

区分		備考
登録漁船総トン数 (t)	① 147.1	H30～R4年港勢調査平均
漁船耐用年数 (年)		
整備前	② 7.00	減価償却資産の耐用年数等に関する省令 (財務省) より
整備後	③ 10.17	
漁船建造費 (千円/t)	④ 4,056	H30～R4造船造機統計調査 (国土交通省) より
年間便益額 (千円/年)	26,567	$(1/② - 1/③) \times ① \times ④$

2) 港内静穏度向上に伴う漁船耐用年数の延長 (西黒沢地区)

防波堤の整備前は、港内の静穏度が確保されていなかったことから漁船の接触等による損傷が生じていた。防波堤の整備により漁船の耐用年数が延長する。

$$5,707 \text{ 千円}$$

区分		備考
登録漁船総トン数 (t)	① 31.6	H30～R4年港勢調査平均
漁船耐用年数 (年)		
整備前	② 7.00	減価償却資産の耐用年数等に関する省令 (財務省) より
整備後	③ 10.17	
漁船建造費 (千円/t)	④ 4,056	H30～R4造船造機統計調査 (国土交通省) より
年間便益額 (千円/年)	5,707	$(1/② - 1/③) \times ① \times ④$

3) 港内静穏度向上に伴う荒天時の係留作業時間の軽減 (本港)

防波堤の改良整備により、港内の静穏度が向上することに伴い、荒天時の係留作業時間の軽減が図られる。

$$2,829 \text{ 千円} \times 0.27 = 763 \text{ 千円}$$

按分係数0.27 (9次計画の事業費を含めたものと本計画の事業費を考慮して按分)

(3t未満)

区分		備考
作業時間 (時間/日)		
整備前	① 0.7	調査日: 令和6年10月23日 調査場所: 秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者: 秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者: 秋田県水産漁港課職員 調査実施方法: ヒアリング調査
整備後	② 0.3	
荒天日数 (日/年)	③ 42	
作業人数 (人/隻)	④ 2	
漁船隻数 (隻)	⑤ 38	H30～R4年港勢調査平均
労務単価 (円/時間)	⑥ 1,546	R4年漁業経営調査報告 (日本海北地区: 漁船漁業)
年間便益額 (千円/年)	1,973	$(① - ②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ / 1000$

(3～5t)

区分		備考
作業時間 (時間/日)		
整備前	① 0.5	調査日: 令和6年10月23日 調査場所: 秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者: 秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者: 秋田県水産漁港課職員 調査実施方法: ヒアリング調査
整備後	② 0.2	
荒天日数 (日/年)	③ 42	
作業人数 (人/隻)	④ 2	
漁船隻数 (隻)	⑤ 14	H30～R4年港勢調査平均
労務単価 (円/時間)	⑥ 1,546	R4年漁業経営調査報告 (日本海北地区: 漁船漁業)
年間便益額 (千円/年)	545	$(① - ②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ / 1000$

(10～20 t)

区分			備考
作業時間（時間/日）			
整備前	①	0.7	調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.3	
荒天日数（日/年）	③	42	
作業人数（人/隻）	④	6	
漁船隻数（隻）	⑤	2	H30～R4年港勢調査平均
労務単価（円/時間）	⑥	1,546	R4年漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）		311	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ / 1000$

4）港内静穏度向上に伴う荒天時の係留作業時間の軽減（西黒沢地区）

防波堤の整備により、港内の静穏度が向上することに伴い、荒天時の係留作業時間の軽減が図られる。

959 千円

(3t未満)

区分			備考
作業時間（時間/日）			
整備前	①	0.7	調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.3	
荒天日数（日/年）	③	42	
作業人数（人/隻）	④	2	
漁船隻数（隻）	⑤	14	H30～R4年港勢調査平均
労務単価（円/時間）	⑥	1,546	R4年漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）		727	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ / 1000$

(3～5t)

区分			備考
作業時間（時間/日）			
整備前	①	0.5	調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.2	
荒天日数（日/年）	③	42	
作業人数（人/隻）	④	2	
漁船隻数（隻）	⑤	2	H30～R4年港勢調査平均
労務単価（円/時間）	⑥	1,546	R4年漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）		77	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ / 1000$

(5～10 t)

区分			備考
作業時間（時間/日）			
整備前	①	0.7	調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.3	
荒天日数（日/年）	③	42	
作業人数（人/隻）	④	6	
漁船隻数（隻）	⑤	1	H30～R4年港勢調査平均
労務単価（円/時間）	⑥	1,546	R4年漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）		155	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ / 1000$

5) 港内静穏度向上に伴う荒天時の見回り時間の軽減（本港）

防波堤の改良整備前は、荒天時に漁船の係留状況を1日数回見回る必要があった。整備後は、越波の低減に伴い港内静穏度が向上し、見回りに要していた作業時間が軽減される。

$$14,284 \text{ 千円} \times 0.27 = 3,856 \text{ 千円}$$

按分係数0.27（9次計画の事業費を含めたものと本計画の事業費を考慮して按分）
（3t未満）

区分		備考
見回り回数（回/日）		
整備前 ①	3	調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後 ②	1	
作業人数（人/隻） ③	2	
作業時間（時間/回） ④	1.0	
荒天日数（日/年） ⑤	42	
漁船隻数（隻） ⑥	38	H30～R4年港勢調査平均
労務単価（円/時間） ⑦	1,546	R4年漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）	9,869	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

（3～5t）

区分		備考
見回り回数（回/日）		
整備前 ①	3	調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後 ②	1	
作業人数（人/隻） ③	2	
作業時間（時間/回） ④	1.0	
荒天日数（日/年） ⑤	42	
漁船隻数（隻） ⑥	14	H30～R4年港勢調査平均
労務単価（円/時間） ⑦	1,546	R4年漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）	3,636	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

（10～20t）

区分		備考
見回り回数（回/日）		
整備前 ①	3	調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後 ②	1	
作業人数（人/隻） ③	2	
作業時間（時間/回） ④	1.5	
荒天日数（日/年） ⑤	42	
漁船隻数（隻） ⑥	2	H30～R4年港勢調査平均
労務単価（円/時間） ⑦	1,546	R4年漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）	779	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

6) 港内静穏度向上に伴う荒天時の見回り時間の軽減（西黒沢地区）

防波堤の整備前は、荒天時に漁船の係留状況を1日数回見回る必要があった。整備後は、越波の低減に伴い港内静穏度が向上し、見回りに要していた作業時間が軽減される。

$$4,544 \text{ 千円}$$

（3t未満）

区分		備考
見回り回数（回/日）		
整備前 ①	3	調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後 ②	1	
作業人数（人/隻） ③	2	
作業時間（時間/回） ④	1.0	
荒天日数（日/年） ⑤	42	
漁船隻数（隻） ⑥	14	H30～R4年港勢調査平均
労務単価（円/時間） ⑦	1,546	R4年漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）	3,636	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

(3～5t)

区分		備考
見回り回数（回/日）		調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備前 ①	3	
整備後 ②	1	
作業人数（人/隻） ③	2	
作業時間（時間/回） ④	1.0	
荒天日数（日/年） ⑤	42	
漁船隻数（隻） ⑥	2	
労務単価（円/時間） ⑦	1,546	
年間便益額（千円/年）	519	
		$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

(5～10t)

区分		備考
見回り回数（回/日）		調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備前 ①	3	
整備後 ②	1	
作業人数（人/隻） ③	2	
作業時間（時間/回） ④	1.5	
荒天日数（日/年） ⑤	42	
漁船隻数（隻） ⑥	1	
労務単価（円/時間） ⑦	1,546	
年間便益額（千円/年）	389	
		$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

7）護岸整備に伴う漁業資材の避難時間の削減（本港）

低気圧や台風等の時化時には、護岸部からの越波により、背後地に置かれた漁業資材が飛散する被害が生じており、飛散防止のため事前に漁具を避難させていた。護岸整備後は、護岸からの越波が軽減し、漁具避難に要していた作業時間が削減される。

27,010 千円

(3t未満)

区分		備考
作業回数（回/年）		調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備前 ①	42	
整備後 ②	0	
作業時間（時間/回） ③	2.0	
作業人数（人/隻） ④	2	
作業回数（回/日） ⑤	2	
漁船隻数（隻） ⑥	36	
労務単価（円/時間） ⑦	1,546	
年間便益額（千円/年）	18,700	
		$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

(3～5t)

区分		備考
作業回数（回/年）		調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備前 ①	42	
整備後 ②	0	
作業時間（時間/回） ③	2.0	
作業人数（人/隻） ④	2	
作業回数（回/日） ⑤	2	
漁船隻数（隻） ⑥	13	
労務単価（円/時間） ⑦	1,546	
年間便益額（千円/年）	6,752	
		$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

(10～20t)

区分		備考
作業回数（回/年）		調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備前 ①	42	
整備後 ②	0	
作業時間（時間/回） ③	2.0	
作業人数（人/隻） ④	3	
作業回数（回/日） ⑤	2	
漁船隻数（隻） ⑥	2	
労務単価（円/時間） ⑦	1,546	R4漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）	1,558	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

8）護岸整備に伴う漁業資材の避難時間の削減（西黒沢地区）

低気圧や台風等の時化時には、護岸部からの越波により、背後地に置かれた漁業資材が飛散する被害が生じており、飛散防止のため事前に漁具を避難させていた。護岸整備後は、護岸からの越波が軽減し、漁具避難に要していた作業時間が削減される。

8,569 千円

(3t未満)

区分		備考
作業回数（回/年）		調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備前 ①	42	
整備後 ②	0	
作業時間（時間/回） ③	2.0	
作業人数（人/隻） ④	2	
作業回数（回/日） ⑤	2	
漁船隻数（隻） ⑥	13	
労務単価（円/時間） ⑦	1,546	R4漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）	6,752	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

(3～5t)

区分		備考
作業回数（回/年）		調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備前 ①	42	
整備後 ②	0	
作業時間（時間/回） ③	2.0	
作業人数（人/隻） ④	2	
作業回数（回/日） ⑤	2	
漁船隻数（隻） ⑥	2	
労務単価（円/時間） ⑦	1,546	R4漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）	1,038	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

(5～10t)

区分		備考
作業回数（回/年）		調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備前 ①	42	
整備後 ②	0	
作業時間（時間/回） ③	2.0	
作業人数（人/隻） ④	3	
作業回数（回/日） ⑤	2	
漁船隻数（隻） ⑥	1	
労務単価（円/時間） ⑦	1,546	R4漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）	779	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

9) 港内静穏度向上に伴う荒天時のゴミ片付け経費の削減（本港）

防波堤の改良整備により、港内静穏度向上が図られ、漁港内における荒天時のゴミの片付け経費が削減される。

5,259 千円

区分		備考
作業回数（日/年）		
整備前 ①	42	調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後 ②	0	
作業時間（時間/回） ③	1.5	
作業人数（人/回） ④	54	
労務単価（円/時間） ⑤	1,546	R4漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）	5,259	(①-②)×③×④×⑤/1000

1 0) 護岸整備に伴う荒天時のゴミ片付け経費の削減（西黒沢地区）

西黒沢地区では、低気圧や台風等の時化時に護岸部からの越波があり、背後地にゴミが散乱することからその都度漁業者による片付け作業が行われていた。整備後は、護岸からの越波が軽減されたことから、片付けに要していた経費が削減される。

1,655 千円

区分		備考
作業回数（日/年）		
整備前 ①	42	調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後 ②	0	
作業時間（時間/回） ③	1.5	
作業人数（人/回） ④	17	
労務単価（円/時間） ⑤	1,546	R4漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）	1,655	(①-②)×③×④×⑤/1000

1 1) 物揚場整備に伴う作業時間の軽減

西黒沢地区は、物揚場の延長不足から陸揚げ時に多少の待ち時間があり、陸揚げ作業に時間を要していた。物揚場の整備に伴い、接岸できる延長が増加することから、陸揚げに要していた作業時間が軽減される。

85 千円

（採貝・採草）

区分		備考
作業時間（時間/日）		
整備前 ①	0.83	調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後 ②	0.50	
出漁日数（日/年） ③	56	
作業人数（人/隻） ④	1	
漁船隻数（隻） ⑤	3	H30～R4年港勢調査平均
労務単価（円/時間） ⑥	1,546	R4漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）	85	(①-②)×③×④×⑤×⑥/1000

1 2) 排水路改良に伴う土砂上げ回数の削減

排水路を兼ねた旧施設（南防波堤）が設置されていたが、排水不良となっていたことから年数回土砂上げをする必要があった。旧施設撤去による排水路の改良を行ったことで、土砂上げに要していた作業時間が削減される。

469 千円

区分		備考
作業回数（回/年）		
整備前 ①	2	調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後 ②	0	
作業時間（時間/隻） ③	4.0	
作業人数（人/隻） ④	38	
労務単価（円/時間） ⑤	1,546	R4漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）	469	(①-②)×③×④×⑤/1000

(2) 漁業機会の増大効果

1) 港内静穏度向上に伴う操業時間の増大（本港）

現状、港内の静穏度が保たれていないことから、出漁待ちや帰港にあたって操業の早期切り上げが必要となっていた。防波堤の改良整備により、港内出入りの安全が確保されるとともに、早期に切り上げていた操業の延長と出漁待ち時間が解消される。

$$2,787 \text{ 千円} \times 0.27 = 752 \text{ 千円}$$

按分係数0.27（9次計画の事業費を含めたものと本計画の事業費を考慮して按分）

（定置網）

区分			備考
操業切上げ時間（時間/日）			
整備前	①	2.0	調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.0	
早期切上げ日数（日/年）	③	15	
作業人数（人/隻）	④	6	
漁船隻数（隻）	⑤	6	H30～R4年港勢調査平均
労務単価（円/時間）	⑥	1,546	R4漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）		1,669	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ / 1000$

（小型定置網）

区分			備考
操業切上げ時間（時間/日）			
整備前	①	2.0	調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.0	
早期切上げ日数（日/年）	③	15	
作業人数（人/隻）	④	6	
漁船隻数（隻）	⑤	1	H30～R4年港勢調査平均
労務単価（円/時間）	⑥	1,411	R4漁業経営調査報告（日本海北地区：小型定置網漁業）
年間便益額（千円/年）		253	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ / 1000$

（刺し網）

区分			備考
操業切上げ時間（時間/日）			
整備前	①	0.5	調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.0	
早期切上げ日数（日/年）	③	13	
作業人数（人/隻）	④	2	
漁船隻数（隻）	⑤	42	H30～R4年港勢調査平均
労務単価（円/時間）	⑥	1,546	R4漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）		844	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ / 1000$

（釣り）

区分			備考
操業切上げ時間（時間/日）			
整備前	①	1.0	調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.0	
早期切上げ日数（日/年）	③	2	
作業人数（人/隻）	④	1	
漁船隻数（隻）	⑤	2	H30～R4年港勢調査平均
労務単価（円/時間）	⑥	1,546	R4漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）		6	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ / 1000$

（採貝・採草）

区分			備考
操業切上げ時間（時間/日）			
整備前	①	1.0	調査日：令和6年10月23日 調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区 調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員 調査実施者：秋田県水産漁港課職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後	②	0.0	
早期切上げ日数（日/年）	③	10	
作業人数（人/隻）	④	1	
漁船隻数（隻）	⑤	1	H30～R4年港勢調査平均
労務単価（円/時間）	⑥	1,546	R4漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
年間便益額（千円/年）		15	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ / 1000$

2) 港内静穏度向上に伴う操業時間の増大（西黒沢地区）

現状、港内の静穏度が保たれていないことから、出漁待ちや帰港にあたって操業の早期切り上げが必要となっていた。防波堤の整備により、港内出入りの安全が確保されるとともに、早期に切り上げていた操業の延長と出漁待ち時間が解消される。

1,083 千円

（定置網）

区分		備考
操業切上げ時間（時間/日）		
整備前	①	2.0
整備後	②	0.0
早期切上げ日数（日/年）	③	21
作業人数（人/隻）	④	6
漁船隻数（隻）	⑤	1
労務単価（円/時間）	⑥	1,546
年間便益額（千円/年）		389

（小型定置網）

区分		備考
操業切上げ時間（時間/日）		
整備前	①	2.0
整備後	②	0.0
早期切上げ日数（日/年）	③	21
作業人数（人/隻）	④	6
漁船隻数（隻）	⑤	1
労務単価（円/時間）	⑥	1,411
年間便益額（千円/年）		355

（刺し網）

区分		備考
操業切上げ時間（時間/日）		
整備前	①	0.5
整備後	②	0.0
早期切上げ日数（日/年）	③	17
作業人数（人/隻）	④	2
漁船隻数（隻）	⑤	12
労務単価（円/時間）	⑥	1,546
年間便益額（千円/年）		315

（採貝・採草）

区分		備考
操業切上げ時間（時間/日）		
整備前	①	1.0
整備後	②	0.0
早期切上げ日数（日/年）	③	16
作業人数（人/隻）	④	1
漁船隻数（隻）	⑤	1
労務単価（円/時間）	⑥	1,546
年間便益額（千円/年）		24

3) 港内静穏度向上に伴う出漁可能日数の増加 (本港)

防波堤の改良整備により、港内静穏度が向上することに伴い、微妙な波浪条件下での出漁可能日数の増加が図られる。

$$15,114 \quad \text{千円} \times \quad 0.27 \quad = \quad 4,080 \quad \text{千円}$$

按分係数0.27 (9次計画の事業費を含めたものと本計画の事業費を考慮して按分)
(定置網)

区分		備考
出漁日数 (日/年)		調査日:令和6年10月23日
整備前	①	113
整備後	②	128
作業人数 (人/隻)	③	6
漁船隻数 (隻)	④	6
労働時間 (時間/回・人)	⑤	8.41
労務単価 (円/時間)	⑥	1,546
年間便益額 (千円/年)		7,021

(小型定置網)

区分		備考
出漁日数 (日/年)		調査日:令和6年10月23日
整備前	①	136
整備後	②	151
作業人数 (人/隻)	③	6
漁船隻数 (隻)	④	1
労働時間 (時間/回・人)	⑤	8.41
労務単価 (円/時間)	⑥	1,411
年間便益額 (千円/年)		1,067

(刺し網)

区分		備考
出漁日数 (日/年)		調査日:令和6年10月23日
整備前	①	82
整備後	②	95
作業人数 (人/隻)	③	2
漁船隻数 (隻)	④	42
労働時間 (時間/回・人)	⑤	4.11
労務単価 (円/時間)	⑥	1,546
年間便益額 (千円/年)		6,938

(釣り)

区分		備考
出漁日数 (日/年)		調査日:令和6年10月23日
整備前	①	76
整備後	②	78
作業人数 (人/隻)	③	1
漁船隻数 (隻)	④	2
労働時間 (時間/回・人)	⑤	4.11
労務単価 (円/時間)	⑥	1,546
年間便益額 (千円/年)		25

(採貝・採草)

区分		備考
出漁日数 (日/年)		調査日:令和6年10月23日
整備前	①	46
整備後	②	56
作業人数 (人/隻)	③	1
漁船隻数 (隻)	④	1
労働時間 (時間/回・人)	⑤	4.11
労務単価 (円/時間)	⑥	1,546
年間便益額 (千円/年)		63

4) 港内静穏度向上に伴う出漁可能日数の増加（西黒沢地区）

防波堤の整備により、港内静穏度が向上することに伴い、微妙な波浪条件下での出漁可能日数の増加が図られる。

5, 826 千円

（定置網）

区分		備考
出漁日数（日/年）		調査日：令和6年10月23日
整備前	①	107
整備後	②	128
作業人数（人/隻）	③	6
漁船隻数（隻）	④	1
労働時間（時間/回・人）	⑤	8. 41
労務単価（円/時間）	⑥	1, 546
年間便益額（千円/年）		1, 638

（小型定置網）

区分		備考
出漁日数（日/年）		調査日：令和6年10月23日
整備前	①	130
整備後	②	151
作業人数（人/隻）	③	6
漁船隻数（隻）	④	1
労働時間（時間/回・人）	⑤	8. 41
労務単価（円/時間）	⑥	1, 411
年間便益額（千円/年）		1, 495

（刺し網）

区分		備考
出漁日数（日/年）		調査日：令和6年10月23日
整備前	①	78
整備後	②	95
作業人数（人/隻）	③	2
漁船隻数（隻）	④	12
労働時間（時間/回・人）	⑤	4. 11
労務単価（円/時間）	⑥	1, 546
年間便益額（千円/年）		2, 592

（採貝・採草）

区分		備考
出漁日数（日/年）		調査日：令和6年10月23日
整備前	①	40
整備後	②	56
作業人数（人/隻）	③	1
漁船隻数（隻）	④	1
労働時間（時間/回・人）	⑤	4. 11
労務単価（円/時間）	⑥	1, 546
年間便益額（千円/年）		101

（3）漁業就業環境の向上

1）安全性・快適性の向上に伴う労働環境の改善（本港）

防波堤の改良整備に伴い、漁港内における安全性が著しく向上するとともに精神的な不安が軽減され、作業の安全性・快適性（精神的な満足度）が向上し、漁業就労環境が大幅に向上する。

15, 015 千円 × 0. 27 = 4, 054 千円

按分係数0. 27（9次計画の事業費を含めたものと本計画の事業費を考慮して按分）

(定置網)

区分		備考
作業状況基準値		
整備前①	1. 249	労働環境別基準値 (Bランク)
整備後②	1. 000	労働環境別基準値 (Cランク)
作業人数 (人/隻)③	6	調査日:令和6年10月23日
出漁日数 (日/年)④	128	調査場所:秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区
作業時間 (時間/日)⑤	2. 0	調査対象者:秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員
漁船隻数 (隻)⑥	6	調査実施者:秋田県水産漁港課職員
労務単価 (円/時間)⑦	1, 546	調査実施方法:ヒアリング調査
年間便益額 (千円/年)	3, 547	H30～R4年港勢調査平均
		R4漁業経営調査報告 (日本海北地区:漁船漁業)
		$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

(小型定置網)

区分		備考
作業状況基準値		
整備前①	1. 249	労働環境別基準値 (Bランク)
整備後②	1. 000	労働環境別基準値 (Cランク)
作業人数 (人/隻)③	6	調査日:令和6年10月23日
出漁日数 (日/年)④	151	調査場所:秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区
作業時間 (時間/日)⑤	2. 0	調査対象者:秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員
漁船隻数 (隻)⑥	1	調査実施者:秋田県水産漁港課職員
労務単価 (円/時間)⑦	1, 411	調査実施方法:ヒアリング調査
年間便益額 (千円/年)	636	H30～R4年港勢調査平均
		R4漁業経営調査報告 (日本海北地区:小型定置網漁業)
		$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

(刺し網)

区分		備考
作業状況基準値		
整備前①	1. 249	労働環境別基準値 (Bランク)
整備後②	1. 000	労働環境別基準値 (Cランク)
作業人数 (人/隻)③	2	調査日:令和6年10月23日
出漁日数 (日/年)④	95	調査場所:秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区
作業時間 (時間/日)⑤	3. 5	調査対象者:秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員
漁船隻数 (隻)⑥	42	調査実施者:秋田県水産漁港課職員
労務単価 (円/時間)⑦	1, 546	調査実施方法:ヒアリング調査
年間便益額 (千円/年)	10, 751	H30～R4年港勢調査平均
		R4漁業経営調査報告 (日本海北地区:漁船漁業)
		$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

(釣り)

区分		備考
作業状況基準値		
整備前①	1. 249	労働環境別基準値 (Bランク)
整備後②	1. 000	労働環境別基準値 (Cランク)
作業人数 (人/隻)③	1	調査日:令和6年10月23日
出漁日数 (日/年)④	78	調査場所:秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区
作業時間 (時間/日)⑤	1. 0	調査対象者:秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員
漁船隻数 (隻)⑥	2	調査実施者:秋田県水産漁港課職員
労務単価 (円/時間)⑦	1, 546	調査実施方法:ヒアリング調査
年間便益額 (千円/年)	60	H30～R4年港勢調査平均
		R4漁業経営調査報告 (日本海北地区:漁船漁業)
		$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

(採貝・採草)

区分		備考
作業状況基準値		
整備前①	1. 249	労働環境別基準値 (Bランク)
整備後②	1. 000	労働環境別基準値 (Cランク)
作業人数 (人/隻)③	1	調査日:令和6年10月23日
出漁日数 (日/年)④	56	調査場所:秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区
作業時間 (時間/日)⑤	1. 0	調査対象者:秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員
漁船隻数 (隻)⑥	1	調査実施者:秋田県水産漁港課職員
労務単価 (円/時間)⑦	1, 546	調査実施方法:ヒアリング調査
年間便益額 (千円/年)	21	H30～R4年港勢調査平均
		R4漁業経営調査報告 (日本海北地区:漁船漁業)
		$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

2) 安全性・快適性の向上に伴う労働環境の改善（西黒沢地区）

防波堤の整備に伴い、漁港内における安全性が著しく向上するとともに精神的な不安が軽減され、作業の安全性・快適性（精神的な満足度）が向上し、漁業就労環境が大幅に向上する。

4, 319 千円

（定置網）

区分		備考
作業状況基準値		
整備前 ①	1. 249	労働環境別基準値（Ｂランク）
整備後 ②	1. 000	労働環境別基準値（Ｃランク）
作業人数（人/隻） ③	6	調査日：令和6年10月23日
出漁日数（日/年） ④	128	調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区
作業時間（時間/日） ⑤	2. 0	調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員
漁船隻数（隻） ⑥	1	調査実施者：秋田県水産漁港課職員
労務単価（円/時間） ⑦	1, 546	調査実施方法：ヒアリング調査
年間便益額（千円/年）	591	H30～R4年港勢調査平均
		R4漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
		$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

（小型定置網）

区分		備考
作業状況基準値		
整備前 ①	1. 249	労働環境別基準値（Ｂランク）
整備後 ②	1. 000	労働環境別基準値（Ｃランク）
作業人数（人/隻） ③	6	調査日：令和6年10月23日
出漁日数（日/年） ④	151	調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区
作業時間（時間/日） ⑤	2. 0	調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員
漁船隻数（隻） ⑥	1	調査実施者：秋田県水産漁港課職員
労務単価（円/時間） ⑦	1, 411	調査実施方法：ヒアリング調査
年間便益額（千円/年）	636	H30～R4年港勢調査平均
		R4漁業経営調査報告（日本海北地区：小型定置網漁業）
		$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

（刺し網）

区分		備考
作業状況基準値		
整備前 ①	1. 249	労働環境別基準値（Ｂランク）
整備後 ②	1. 000	労働環境別基準値（Ｃランク）
作業人数（人/隻） ③	2	調査日：令和6年10月23日
出漁日数（日/年） ④	95	調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区
作業時間（時間/日） ⑤	3. 5	調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員
漁船隻数（隻） ⑥	12	調査実施者：秋田県水産漁港課職員
労務単価（円/時間） ⑦	1, 546	調査実施方法：ヒアリング調査
年間便益額（千円/年）	3, 071	H30～R4年港勢調査平均
		R4漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
		$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

（採貝・採草）

区分		備考
作業状況基準値		
整備前 ①	1. 249	労働環境別基準値（Ｂランク）
整備後 ②	1. 000	労働環境別基準値（Ｃランク）
作業人数（人/隻） ③	1	調査日：令和6年10月23日
出漁日数（日/年） ④	56	調査場所：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区
作業時間（時間/日） ⑤	1. 0	調査対象者：秋田県漁協中央支所中央北地区畠地区職員
漁船隻数（隻） ⑥	1	調査実施者：秋田県水産漁港課職員
労務単価（円/時間） ⑦	1, 546	調査実施方法：ヒアリング調査
年間便益額（千円/年）	21	H30～R4年港勢調査平均
		R4漁業経営調査報告（日本海北地区：漁船漁業）
		$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ / 1000$

施設整備前後の労働環境評価チェックシート

【準備】

評価指標			ポイント	チェック		評価の根拠（整備前）	根拠(評価の目安)
				整備前	整備後		
危険性	事故等の発生頻度	a 作業中の事故や病気等が頻発している	3				ほぼ毎日のように事故や病気が発生
		b 過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2			令和●年に、転倒事故が発生	直近5年程度での発生がある
		c 過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○		発生はないが危険性はあった	港内静穏度の不十分による転倒、転落等
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○		
	事故等の内容	a 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3				海中への転落、漁港施設内での交通事故等
		b 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2			突風により転倒し、一定期間の通院が必要となった	転倒、資材の下敷き、落下物の危険等
		c 通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1	○		軽い打撲等	軽い打撲等
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○		
	危険性 小計		0～6	2	0		
作業環境	a 極めて過酷な作業環境である	5				酷寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等	
	b 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3	○		風雪等の影響を強く受ける	風雨、波浪の飛沫等	
	c 風雨等の影響を受ける場合がある	1		○		防波堤、護岸の整備により波浪の飛沫等軽減	
	d 当該地域における標準的な作業環境である	0					
重労働性	a 肉体的負担が極めて大きい作業	5				人力での漁船上下架、潮位差の大きい陸揚等	
	b 肉体的負担が比較的大きい作業	3	○		港内静穏度が悪い状況での準備作業等負担の大きい作業を強いられていた。	長時間の同じ姿勢での作業等	
	c 肉体的負担がある作業	1		○		港内静穏度向上による作業環境改善	
	d 通常の作業と同等程度の肉体的負担	0					
評価ポイント 計				8	2		

Aランクの条件：評価ポイント計16～13ポイント

Bランクの条件：評価ポイント計12～6ポイント

Cランクの条件：評価ポイント計5～0ポイント

施設整備前後の労働環境評価チェックシート

【陸揚げ】

評価指標			ポイント	チェック		評価の根拠（整備前）	根拠(評価の目安)
				整備前	整備後		
危険性	事故等の発生頻度	a 作業中の事故や病気等が頻発している	3				ほぼ毎日のように事故や病気が発生
		b 過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2			令和●年に、転倒事故が発生	直近5年程度での発生がある
		c 過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○		発生はないが危険性はあった	港内静穏度の不十分による転倒、転落等
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○		
	事故等の内容	a 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3				海中への転落、漁港施設内での交通事故等
		b 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2			突風により転倒し、一定期間の通院が必要となった	転倒、資材の下敷き、落下物の危険等
		c 通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1	○		軽い打撲等	軽い打撲等
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○		
	危険性 小計		0～6	2	0		
作業環境	a 極めて過酷な作業環境である	5				酷寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等	
	b 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3	○		風雪等の影響を強く受ける	風雨、波浪の飛沫等	
	c 風雨等の影響を受ける場合がある	1		○		防波堤、護岸の整備により波浪の飛沫等軽減	
	d 当該地域における標準的な作業環境である	0					
重労働性	a 肉体的負担が極めて大きい作業	5				人力での漁船上下架、潮位差の大きい陸揚等	
	b 肉体的負担が比較的大きい作業	3	○		港内静穏度が悪い状況での陸揚げ作業等負担の大きい作業を強いられていた。	長時間の同じ姿勢での作業等	
	c 肉体的負担がある作業	1		○		港内静穏度向上による作業環境改善	
	d 通常の作業と同等程度の肉体的負担	0					
評価ポイント 計				8	2		

Aランクの条件：評価ポイント計16～13ポイント

Bランクの条件：評価ポイント計12～6ポイント

Cランクの条件：評価ポイント計5～0ポイント